

消費者志向によるエシカル消費の持つ意義と可能性

ー富山県の事例を中心にー

The Significances and Potentials by Consumer-Oriented Ethical Consumption
:Case Studies in Toyama

地域／論文

地域キュレーションコース

吉田 悠乃
Yukino Yoshida

◎研究目的

今日、消費者の食生活を取り巻く環境には、発展途上国の人権・貧困問題や環境問題など多くの課題が存在する。これは、事業者や消費者による大量生産・大量消費活動が引き起こした社会的課題であり、それぞれが責任を負い解決を目指していかなばならない。その中でも近年、消費者による取り組みとして、エシカル消費が注目されている。消費者庁では、エシカル消費を「消費者それぞれが各自にとっての社会的課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと」（引用1）と示しており、社会的課題に対応して、人・社会、環境、地域に分類される。消費者の意識的行動により実現するエシカル消費は、行政機関を中心に普及啓発が進められているが、明らかな消費者行動の変化にはつながっていない。そこで本論文では、エシカル消費がもたらす便益を主体別に整理するとともに、普及に向けて消費者意識との適性を明らかにする。そして、全国に先駆けて実施されてきた富山県のエシカル消費に関する事業を取り上げ、消費者志向型エシカル消費の可能性を考察する。

◎エシカル消費実現がもたらす便益と消費者意識による課題

エシカル消費の認知度は低いものの、良いイメージや必要性は多くの消費者が感じており、消費活動において商品を決定する重要な要素となることが明らかになった。これにより、エシカル消費実現によって、中長期的に見て事業者へ利益が生まれることや、消費者の日常生活の持続性が保障されることとなる。この事業者と消費者の便益サイクルが成立することで、社会的課題解決への効果も期待される。

しかし、エシカル消費を実施する消費者にとって、エシカル商品の存在は身近なものではない。フェアトレード専門店をはじめ、エシカル商品を扱うオンラインショップが増加しているものの、エシカル消費の認知度の低さから、これらに興味関心を抱く消費者は限られている。また、今日の消費者意識には「利便性消費」の傾向があり、普段の購買行動と異なる知識や移動を求められるエシカル消費活動との齟齬が生じている。

◎富山県のエシカル消費関連事業について

富山県では、2014（平成26）年に、国の「消費者教育の推進に関する基本的な方針」を受け「富山県消費者教育推進計画（とやま消費者プラン）」が策定された。ここでは、重要テーマ④「環境や人、社会に配慮した消費行動の推進」として、事業者を主体

としたエシカル消費関連事業が取り上げられている。「多様な主体による連携強化・発展型の消費者教育強化事業」では、富山県内の事業者・団体・個人を実行委員会として取りまとめ、エシカル消費推進を含む様々な消費者教育事業が年度毎に実施されている。2021（令和3）年からは、新しく「企業参画型エシカル消費PR事業」が行われ、県と富山県消費者協会、アルビス株式会社が連携し、「とやまエシカルフェア」が県内のアルビス全店舗で開催された。これにより、消費者へのエシカル消費の呼びかけのみならず、従業員の理解や販売事業での利益向上が得られた。

地域のエシカル消費活動として挙げられる地産地消も、富山県では盛んに行われている。県産品の認証マークやラベルを収集し応募する「富山県産品購入ポイント制度」や、県産品を取り扱う飲食店の利用でポイントが貯まる「とやま地産地消飲食店利用ポイント制度」では、クーポンや県産品が当選する仕組みとなっており、消費者の積極的な事業参入がみられている。

◎消費者志向によるエシカル消費の可能性に関する考察

地域におけるエシカル消費活動は、消費者意識が生むエシカル商品との物理的・精神的距離の課題を解消するものとして効果をもたらししている。「地域間のつながり」を活かし、地域それぞれで役割を担う事業者や団体を選択することで、消費者の生活とニーズに密接した事業運営が可能となる。そして、利益向上などの事業成果により「事業者の便益への理解」が得られることで、事業者の倫理的事業への取り組みを促進させ、事業者と消費者の倫理的な需要と供給の成立が期待される。消費者志向として効果的な働きを持つ「地域間のつながり」と、それによる「事業者の便益への理解」が、エシカル消費実現に必要な不可欠であり、事業者の主体性とエシカル消費関連事業への積極的参入が重要である。

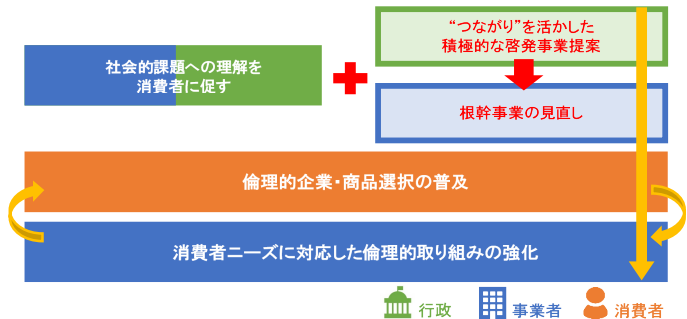


図1 消費者志向によるエシカル消費の流れ

（引用1）消費者庁「エシカル消費とは」
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/public_awareness/ethical/about/